広報 いまかね

健康で勤労にはげむ明るい町にいたしましょう。　（町民憲章より）



’７３年

3月号

No. 177

スポーツに親しもう

農閑期を利用して今金連合婦人会では、３月４日青少年会館でスポーツ大会を開きました。

約90人が参加、なわ飛びやバレーボール、さらにはボウリングとこの日ばかりは童心に返って大はしゃぎでした。

春は目の前です。こともスポーツに親しみ、健康で楽しい生活を送りましょう。

町づくりに活発な意見要望

12会場で町政懇談会

町民のみなさんのナマの声を広く町政に反映し、明るく住みよい町づくりを―と、毎年新年度予算編成前に開かれている町政懇談会。

ことしも、二月一日から八日まで各部落に出向き十二会場で開かれましたが、どの会場も熱心な人たちでいっぱい。地域の切実な要望や町づくりのための建設的な意見が続々と出されました。



ヒザをまじえて熱心な話し合い（神丘地区）

除雪路線を延長して

◇**除雪路線の延長を**（金原ほか）＝この冬は、雪が少ないため計画外の町道もキメ細かく除雪している。また、新年度に除雪トラック一台購入するので、道々昇格の余剰能力と合わせ来冬は十八㌔ほどふやす計画だ。

◇**町道に多量のじゃりを敷いて**（豊田ほか）＝新年度に二十八㌔の路線認定をするので、これを重点に実施する。

◇**宅地造成の促進を**（今金）＝公共用地の先行取得のため『土地開発公社』を設立するので、この中で配慮したい。

◇**美利河ダムの見通しは**（美利河）＝国では多目的ダムを優先しており洪水調節の美利河は遅れている。このため、道の事業で早期実施してもらうかどうか、ことし中にメドをつける考えだ。

◇**簡易水道を新設して**（神丘）＝国営かんばい事業の右岸は畑地かんがいに計画変更されたが、この中で営農用水、飲料水施設も計画している。

◇**上地区の営農方針を**（花石）＝集地作物や酪農など農協、普及所地元とも話し合って進めていくが農家の営農意欲にも期待したい。

◇**総合火葬場の設置を**（今金ほか）＝現在は町内に六カ所あるが、将来は一カ所に新しい施設を計画している。それまでは、不便をかけないよう補修する。

生活館がほしい

◇**生活館の建設を**（豊田、中里）＝豊田は四十八年度、中里は四十九年度に建設したい。

◇**国保病院待合室の拡張、及び歯科の新設を**（今金、八束ほか）＝待合室はことし拡張する。歯科は将来施設を与えて個人に経営してもらう方法も検討している。

◇**新年度の国保税の見通しは**（南岸）＝医療給付費は今年度当初に比べ四〇%も伸びる見込みだが、国の補助などにより国保税は二二%増に押えたい。また、低所得者は努めて減税措置をする。

◇**部落の燃えないゴミを収集して**（八束）＝八束、金原、豊田地区は、ことしから年二回ほど巡回収集したい。

◇**出かせぎ労働者対策は**（今金）＝援護組合により労働条件の適正化や連絡調整、るす家族の相談などをしているが、さらに傷害保険の加入促進などPRしていく。

学校給食の実施を

◇**学校給食の実施を**（種川）＝四十九年度に給食センターの建設を計画しているので、これができたら全校に実施したい。

◇**中学校統合には万全を期して**（日進、豊田）＝日進、豊田を新年度から今金中に統合するが、父兄とはよく話し合って納得の上進める。スクールバス（58人乗り）を運行するので待合所もつくる。

◇**学校周囲の環境整備を**（日進ほか）＝中学校を統合した学校から優先的にパートの用務員を採用してこれにあてる。

◇**結婚相談所の開設を**（八束）＝農村後継者の嫁や婿さがしのため方法と内容を煮つめ、開設を検討している。

集団育苗施設に補助

町と農協が3年計画

良質な苗で機械田植えを

○……田植え労務者不足の解消のため機械植えを推進しよう……○
○……と、町と農協では、ことしから三ヵ年計画で『水稲集……○
○……団（共同）育苗施設』の設置に補助し、普及を図ること……○
○……にしました。

深刻な労務者不足

昨年の稲作は、八百九十五㌶（ヘクタール）の休耕や転作があったものの千六百八十ヘクタールを作付、これに要した田植え労務者は、延べ九千一百三十五人（うち町外は四千八十五人）となっています。

この労務者は、けんめいな求人や連年の賃金引き上げにもかかわらず、四十二年の一万七千三百人をピークに毎年減少してきましたが、四十五年からの生産調整が労務調整の役割をしたかたちでなんとか切り抜けてきています。

しかし、単純休耕はことし限り、転作も五十年までで奨励金が打ち切りになるとあって、ことしから耕作面積が増加し、五十一年には若干の廃耕を見込んでも二千六百ヘクタールの作付が予想されます。

このように、人手による田植えは現在の労務需給状況からみても千三百ヘクタールが限度。残りはどうしても機械植えにたよらざるをえません。

ところで、機械植えは本町でも五年ほど前から試験的に行なわれてはいますが、水田二ヘクタール以上の耕作農家で構成されたグループをA型集団（五十ヘクタール以上）とB型集団（三十以上五十ヘクタール未満）に分け、この集団が、ことしから五十年度までに機械植えを目標とした共同育苗施設を設置した場合、町と農協が別表により補助することにしています。

町、農協、普及所では、機械植えに適すると思われる二十六集団を想定、地区ごとに説明していします。

みなさんの地区でも将来に備えて真剣に検討してみてはいかがでしょうか。

過度な休耕は避けよう

ことしの米生産調整

ことしの米生産調整目標数量は昨年と同じく千六百九十九㌧（平年作で約四百八十四ヘクタール）で、町と農協では農家との個別面接で協力してもらうことにしました。本町の十アール当たりの基準補助金は、休耕が二万五千九百八円、普通転作が三万九百八円です。

昨年は、目標に対し約二倍もの休耕転作がありましたが、ことしは政府買入限度数量が昨年の六千三十二㌧よりもふえる見込みであり、また、五十年度で奨励金が打ち切られるので、将来の農業経営を考え、過度の休耕は避けるよう望んでいます。なお、転作では、いも、アスパラ、ビート、大豆、飼料作物などをすすめています。

により品質の統一や良質の苗を確保するなどして、機械植えを積極的に勧めることにしたものです。

将来に備え検討を

計画によりますと、水田二ヘクタール以上の耕作農家で構成されたグループをA型集団（五十ヘクタール以上）とB型集団（三十以上五十ヘクタール未満）に分け、この集団が、ことしから五十年度までに機械植えを目標とした共同育苗施設を設置した場合、町と農協が別表により補助することにしています。

町、農協、普及所では、機械植えに適すると思われる二十六集団を想定、地区ごとに説明していします。

みなさんの地区でも将来に備えて真剣に検討してみてはいかがでしょうか。

水稲集団《共同》育苗施設補助計画

集団別	規模	補助の基準	施設補助	設置補助	施設計画目標 48年	49年	50年	計
A型	50ha以上	1ha以上の移植能力のある施設	300,000円以内	30,000円	カ所 2	カ所 3	カ所 3	カ所 8
B型	30ha以上50ha未満	12ha以上の移植能力のある施設	240,000円以内	20,000円	6	6	6	18

議会の知識14

進め方とことば(1)

開会　議会は、議員半数以上が出席しないと成立せず、議長が開会を宣告しないうちは発言できない。

閉会　会期が終り、または議案の審議が終ったら、議長の宣言で閉会する。

休会　会期の途中で議案の調査や研究のため、休み日を設けること。

閉議　その日の会議を始めること。

散会　その日の会議を終りとすること。

休憩　会議を一時休むこと。

定例会　毎年三月、六月、九月、十二月に町長が招集する。

臨時会　緊急な用件について町長が招集する。

一般質問　町政全般について理事者の考えや経過を聞き、意見を述べること。定例会に限り質問議員は、あらかじめ件名と要旨を通告することになっている。

緊急質問　緊急事件について議長の許可を得て質問する。

質議　議件の内容について尋ねること。原則としてひとり一件三回を限度とする。

討論　議案や議件に対し、賛成、または反対の意見を述べること。

恵まれない人たちにも“春”

精薄者施設“光の里” 明年4月にも開園 町ぐるみでりっぱな施設を

将来は『福祉の里』に

恵まれない人々に愛の手をーと『手をつなぐ親の会』が今金町に誕生して五年。桧山管内ではじめての精薄者施設を一日も早く実現しようという願いがようやく実ろうとしています。

これは、精薄者施設『光の里学園』で、順調にいきますと四十九年四月にも開園しようと準備が進められています。町民みんなの協力で、りっぱな施設を建設したいものです。

桧山支庁の実態調査によりますと、管内には五百三十九人の精薄者(児)がおり、このうち百二十人が就職、百五十二人が施設に入所しています。しかし、管内には施設が一カ所もなく二百四十三人もの人々がはいりたくてもはいれず自宅で恵まれない生活を送っています。また、本町にもこのような人が五十九人もいます。

このため『桧山にも恵まれない不幸な人たちの施設を』と、十数年も前から北部を中心に叫ばれていました。本町でも昭和四十三年に、精薄児をもつ親たちや特殊学級の先生たちの切実な願いが発端となって『手をつなぐ親の会』が結成され、施設実現の運動が地道に進められてきました。

この間、町民の盛り上がりもあり、昨年六月に早期設置を実現するための母体として『光の里』設置期成会(会長今野伝さん)が発足し、八月には、八人の経営にあたる社会福祉法人『光の里』理事会(理事長富田守朗さん)も生まれ設置促進運動が活発に幅広いものとなり、実現に一歩一歩近づきました。


精薄について勉強する婦人研修大会

現在、すでに法人や補助金の申請手続きを終え、四月の補助金内示を待っています。この補助金の内示を受けますと、七月には建設に着工して完成と同時に厚生大臣から社会福祉法人の認可がおりることになっています。

したがって、順調にいきますと明年四月には、桧山管内ではじめての精薄者更生施設が本町に実現することになります。

第一次建設計画による『光の里学園』は、定員二十人(男子二十人、女子十人一の小規模施設ですが、満十五歳以上の人々に生活、学習指導や作業訓練(農耕、陶芸園芸、裁縫など)を中心とした教育をして、将来社会へ自立させることをねらいにしています。ですから、地域の方々とのつながりをたいせつにする町ぐるみの施設でなければなりません。

ところで、この建設には約四千二百万円かかります。このうち、四分の三は自転車振興会からの補助を予定していますが、残りは自己資金を必要とします。このため、町では建設用地の提供と建設費の一部を補助することにしています。

しかし、設置期成会ではさらに善意ある方々に力を借してもらうよう呼びかけています。これまでも、続々と寄付の形で浄財が寄せられており、たいせつに積み立てられています。

町民みんなの理解と協力でりっぱな施設をつくりあげ、さらに将来、精薄児童や老人の施設、職能訓練や授産施設を完備した総合的な福祉の里に育て、今金町が桧山の社会福祉の新しいセンターとしての役割を果たす日を夢みてみませんか。

精神薄弱ということ

親として願ったことでもないのに、生まれた子どもが望んだわけでもないのに、世の中にはいろいろな障害で自立生活のむずかしい人々がたくさんいます。

なかでも『この不幸な子を残して死ねない』と、重度の精薄者を持つ親の悩みはとても深刻で、人知れぬ苦しみとたたかいながら生活しています。

一般の人のなかには、精薄者を『精神病』とか『てんかん性痴呆』などと混同して、ひとつの病気だと思っている人があるようですが、医学的には『いろいろな原因によって知能の発達が遅れた状態』のことをさし、病気とは区別されています。

精薄者は、その知能の程度(普通の人の知能指数=I・Qは一〇〇)によって❶社会的な能力を身につけ就職もできる軽度(I・Q五〇~七五)❷八~九歳程度の知能で身辺の処理はできる中度(I・Q二五~五〇)❸二~三歳程度の知能で生涯にわたる保護が必要な重度(I・Q二五以下)に分けられます。

だれにでも生まれる可能性

精薄者の生まれる原因は、劣性遺伝による先天的な原因と、胎児のときの脳障害、出産時の脳損傷、乳幼児とのきの脳炎などによって起こる後天的な原因に大別されます。このうち、全体の七〇%は後天的原因で占められており、しかも重度が多いといわれています。したがってだれにでも精薄者の生まれる可能性があり、今日では他人ごとであっても『自分の子に絶対生まれない』とはいえません。

また、現在全国には約二百万人の精薄者がいますが、I・Q七〇以下の人の生まれる可能性は二・二七%で、百人に二~三人の精薄の赤ちゃんができることは避けられず、これは全国的な実態調査でも証明されています。

このように、精薄者は自らの行為の結果そうなったのではなく、あるとき突然与えられてしまうもので、その意味では社会全体が避けることのできない一種の犠牲であると考えることもできます。

昨年八月の町産業まつりに、光の里設置期成会が歩行者天国で開いた『郷土物産展示即売会』光の里のPRと基金造成を兼ねて企画されたものですが、数多い町民の暖かい協力がありました。



ヨーロッパの特殊教育(1)

幼稚園にも特殊学級

柴谷國勝俊(今金中教諭)



昭和四十六年三月に、海外特殊教育事情視察団の一行に加わってソ連、フランス、西ドイツ、イギリス、イタリアの視察をしてきましたが、その感想を日本との比較で紹介します。

そのひとつは、どの国でも日本に比べて社会福祉が充実していることです。したがって、年金の保障もたっぷりありますし、国の予算のなかに占める社会福祉費や特殊教育費の割合が非常に高いのにびっくりします。ですから、特殊学校の施設や設備もすばらしいわけで、特にソ連やフランスなどでは、特殊学校の子どもたちの食費を含めたいっさいの教育費が国費でまかなわれていました。

しかし、その反面、社会福祉の制度が充実したために、特殊学校を出て就職できる子も、したがらないというゆがみも見られます。

イギリスでは、就職したがらないために求人数が充足できず、アフリカ系の黒人を大量に生産工場へ雇い入れましたが、それがかえって悪い結果になり『就職するのはいやしいことだ』という考え方が出た時もあったということです。

これは、社会福祉の歴史が古い国でのひとつの傾向として受けとれますが『福祉優先』とかけ声ばかりのわが国では、遠い先のことのようです。

二つめに、小学校入学前(就学前)の障害児の教育に力を入れようという傾向が、それぞれの国で見られたことです。

ソ連では、特殊教育専門の研究をしている国立欠陥学研究所で、障害児の就学前教育の研究が熱心に進められていましたし、また、子どもが生まれると、一年間に十八回もの各種検診を無料で受けることができ細かくチェックされます。フランスでも、幼稚園に特殊学級が設けられましたし、イギリスでも実験学校で就学前の障害児教育の実験のようなことをやっていました。

桧山管内や今金でも、明らかに精薄のお子さんだと思われる就学前の幼児を見受けますが、早期教育の場があればと、強く考えさせられました。

雪解けの春

みんなで環境整備

ゴミは決められた日に



町民みんなが健康で快適な生活を営める町づくり―このためにはひとりひとりが自ら『美しく住みよい町に』の心構えをもつことがたいせつです。

とくに、これから雪解けの春を迎えて、道路や下水のよごれが目だってきます。

この冬は雪も少なく生活しやすい毎日ですが、次の点をもう一度振り返ってみましょう。

《ゴミの出し方》

市街地のゴミ収集は、燃えるゴミと燃えないゴミの収集日を示した立札を立てて協力を願っていますが、まだ収集日以外に出している人がみられます。

このため、犬やカラスなどにより散乱されて付近の家に非常に迷惑をかけています。

必ず収集日当日の午前八時までに、袋はしっかりしばって出してください。収集日に多雪の時は、除雪車通過後に集積所に置くか巡回時に持ち出してください。

《し尿処理》

家庭のし尿そうの中に布類やナイロン製品が捨てられています。

このため、し尿汲取車や処理場の機械に巻き込まれ、機械の故障破損の原因になっていますので、絶対に捨てないようにしてください。

《雪の捨て場》

市街地の雪捨て場は、昨年と同じく今金橋東側三百㍍の場所です。

町では、除雪に万全を期していますが、みなさんの家のまわりや小路にある雪は、町内会や近所の方々と協力し合って処理するようにしてください。

道路に出したり、河川敷地内、排水溝などには、雪はもちろんゴミ、汚物など投げないでください。

今金中に実践表彰

今年度の桧山管内教育実践表彰の学校の部で今金中（校長鈴木尚正さん）が選ばれました。これは生徒の個性を伸ばすコース別学習指導や、地域の特性を生かしたスキー授業の研究充実に成果を上げているのを認められたものです。

自ら子どもの事故防止

種川婦人会に社会貢献賞

活発な交通安全運動を展開している種川婦人会（会長高橋政子さん）に知事から道社会貢献賞が贈られました。

子どもたちのためなら―と、きびしい寒さももろともせずやさしく街頭指導する種川の婦人会員

昭和三十七年に発生した部落初の学童死亡事故。その悲惨さ、同じ子を持つ両親の嘆き悲しみの当たりに見て、交通事故の恐ろしさを痛感、直ちに婦人会に交通安全を重点に歩行者の事故防止に乗り出しました。

以来、春秋の交通安全運動期間中はもとより、毎月一日十五日を交通安全日と定め、横断歩道や踏み切りの街頭指導、新入学児の集合場所の設定、指導員付き添いによる集団登校など事故防止にくふうを重ね、さらに交通安全教室の開催など地域住民に安全思想をPR、部落ぐるみの運動に成果を上げています。

このような婦人たちの努力が実って、十年もの間子どもの事故が一件も発生していません。

さらに高橋さんは『婦人たちを通して家庭内で交通安全を話題にしてもらい、恐ろしい飲酒運転を絶滅していきたい』と抱負を語っています。

より多くの年金を

活用したい国民年金の所得比例制度

もっと多くの年金をー この希望にこたえるために、国民年金には所得比例年金という制度が設けられています。これは、国民年金に加入している人が希望すると加入できるという、他の公的年金に見ることはできない国民年金だけがもつ制度です。

所得比例年金に加入しますと保険料は月九百円（通常の保険料五百五十円プラス所得比例保険料三百五十円）を納めることになります。

所得比例年金は、保険料三百五十円を納めた期間に応じ、通常の年金に加算して支給されます。たとえば、老齢年金は二十五年間保険料を納めたとしますと、通常分九万六千円と所得比例分五万四千円の合計十五万円（月額一万二千五百円）四十年納付の場合は通常分十五万四千六百円と所得比例分八万六千四百円の合計二十四万円（月額二万二百円）が支給されます。

このように、より多くの年金を受ける権利を確保するため、所得比例制度に加入して、将来楽しみのある年金生活に備えてはいかがでしょうか。

圧倒的、上位を独占

道民スポーツ桧山冬季大会

札幌オリンピックを記念しての道民スポーツ冬季桧山大会は、北部桧山四町から約百人が参加して二月十八日、西の杜スロープで行なわれました。

朝から雨が降る最悪のコンディションながら、滑降、回転、距離の三種目に熱戦が展開されましたが、今金町選手団は圧倒的な強さで上位を独占、スキー王国の名をほしいままにしていました。

ところで、十一日の予定が延期されたほどの雪不足。この日も競技続行が危ぶまれましたが、役員やスキー連盟の活躍で、転倒者が多かった割にケガ人もなく、無事大会を終了しました。

各種目の入賞者は次のとおりです。（今金町選手のみ）



2種目に優勝した山本博子さん

【回転】▽小学生男子❶川上正弘❷塩谷孝一❸田井中剛▽同女子❶山本博子❷綱塚真澄❸小泉師子▽中学生男子❶藤倉千秋❷黒川裕一▽同女子❶福田浩子❷内ヶ島裕子❸稲垣恭子▽高校生女子❸大塚元子▽青年❶布施明義❷吉田徹❸仁木幹雄▽成年❶笠原勝二❷油家弘美❸二宮宣行▽壮年❶富沢昭雄❷佐野寅夫

【距離】▽小学生男子❶樋川恒一❷飯田稔❸天井隆彦▽同女子❶橘美佐子❷渡辺孝子❸内ヶ島弘美▽高校生男子❶加藤剛❷日野正敏❸水野誠▽青年❶向井敏治❷高橋靖文❸伊藤修▽成年❶増田勝彦❷水野千葉聡彦▽壮年❶佐々木補❷水野任也❸大河内徹▽一般女子❶大畑裕子

交通事故、非行から守ろう



卒業、入学のシーズン

○…来月からはいよいよ新学期。入学児童のいるご家庭では、いまがいちばん心配なときです。

『うちの子がみんなといっしょにやっていけるかしら…』という心配もありますが、かわいらしい一年生が交通事故でケガをしたり命を失ったりすることは、なんとしても防ぎたいものです。

交通事故による犠牲者は年々ふえるばかりで、もはや安全地帯というところはなくなったようです。

そこでお母さんにお願いしたいのは、子どもさんたちといっしょに最も安全な通学路を開発していただきたいということです。別に新しい道を捜すのではありません。

どこをどう通れば安全か、学校までの道路を実際に歩いてみていただきたいのです。

○…卒業のシーズンは、学校からの解放感、進学、就職の失敗などの心配や悩みから非行におちいったり家出をする少年が少なくありません。

これにはいろいろな原因がみられますが、子どもに対する保護者の関心や監護のあり方が最も大きな影響を与えています。

社会生活のきまりを正しくしつけるとともに、家庭内はいつも明るいふんい気につつみ子どもと話し合う機会を多くしたいものです。

お知らせ



■国保の保険証は４月中に更新を

国民健康保険の被保険者証が４月１日から更新されます。

被保険者証の更新とは、現在使用しているクリーム色の被保険者証の使用できる期間が満了するので、これを回収して新しい被保険者証を交付することです。

世帯主の方は、４月30日までに役場福祉労政課で必ず新しい被保険者証（藤色）と取り替えてください。また、学生や出かせぎなどで、その人だけの被保険者証の交付を受けている場合は、その㊚、㊞の被保険者証も同様です。

期間内に更新しなかった場合は５月１日からこれまでの被保険者証が無効になり、病院などで保険の給付が受けられませんから注意してください。

■消防車には道を譲って

火災が発生してサイレンが鳴らされますと、乗用車で現場に向かう人が多く見受けられます。

このため、消防車が走行できず消火が遅れることもあります。

消防車が近づいたら道を譲ることはもちろん、細い道には駐車しないようお願いします。

なお、火災現場では警察官や消防団員の指示に従って、消火作業の障害にならないようにしてください。

■年賀状で住所録の整理を

最近全国各地で新しい住居表示が実施され、転居をしなくても町名などが変わっている場合があります。年賀状の交換を機会に住所録を訂正し、正しいあて名にしておきましょう。また、住所録には郵便番号の付記も忘れないでほしいものです。　（町内各郵便局）

保健の窓

規則正しい生活を
長生きの秘けつ

長生きをしたいのは、万人の願いだと思います。自分の子どもが一人前になるまで親は、そう早く死んではいられません。少なくとも七十歳までは、健康でいることが必要ではないでしょうか。

平均寿命は、戦後著しく伸び男七十歳、女七十五歳といわれていますが、ヨーロッパ諸国には、まだまだ及びません。

日本の平均寿命が伸びたのは、おもに戦前多かった乳幼児や青年の死亡が激減した結果であって、実際七十歳以上の長寿者はわずかしかふえていないのです。

こういう面から考えてみますと今も長寿者の少ない国といえます。

町民みんなが健康で長生きするために、体格、体力、体質の向上を図るとともに、次の点に気を配ってみましょう。

▽リズムにのった規則正しい生活をする。

▽体力増強のために適当な運動と睡眠を十分にとる。

▽栄養に気を配る。

①米は大食しない。主食は米のみに頼らず、一日一回はパン類かめん類にする工夫を。

②たんぱく質の豊富な肉、魚、大豆類は毎日欠かさずに。

③冬は、野菜類が不足しがち。また、油を食べる工夫も。

▽病気になってから気をつけるのでは手遅れです。健康診断は年一回必ず受ける。

米安君に車いすのプレゼント

生まれつき手足の不自由な米安良一君（末広町・九歳）に社会福祉法人・全国重症心身障害児（者）を守る会から、りっぱな車いすが贈られました（写真）



お母さんは『これで気軽に散歩にも出れるので、今から春が楽しみです』と感謝しています。



■教職員が文化展

初めての試みで二月五日から十日まで公民館で開かれました。ひとり一点以上とあって書道、絵画、写真をはじめ自慢の愛蔵品までさすが先生と思わせるものがいっぱいでした。

住民の動態

	前月に比べて
人口	10,871（＋3）
男	5,304（±0）
女	5,567（＋3）
世帯	2,749（－1）

（1月31日現在の住民基本台帳人口）

◎たんじょうおめでとう

石立　恵（茂　二女）昭和町
佐々木美樹（勉　三女）曙町
河端　和江（芳孝　二女）八束
垣本　猛（利光　長男）八束
田畑　悟志（利雄　二男）八束
相馬　光（敏郎　長男）末広町
鈴木　新弥（忠　長男）豊田
八木　孝幸（幸徳　長男）八束
加藤　幸子（俊治　長女）種川
佐藤　典子（幸雄　長女）種川
山本　志帆（豊　長女）豊田
梶　操子（勝男　長女）御影
尾形　信行（健　二男）南栄町
多田　春美（孝一　長女）東町
岸　育哉（忠重　長思）寒昇
境田　奨（明男　長男）緑町
高橋　祐子（大和　二女）大和町
小岩　妙子（高慶　二女）種川

◎いつまでもしあわせに

竹谷　章＝藤村ヨシ子　八束
丸山　良祐＝稲葉　照子　美利河
小林　正＝加藤　孝子　大和町
栗原　政勝＝小坂　滋子　種川
佐々木重雄＝今野　泰子　稲穂

◆おくやみもうしあげます

佐藤　一郎　七十三歳　美利河
下田屋菊四郎　五十八歳　金原
大平　重吉　八十五歳　美利河
松橋　泰明　十七歳　八幡町

（一月分）

＝広報＝トピックス



■今金消防分団で家族慰安会

家族の協力なしではりっぱな消防活動はムリーと、二月二十五日公民館に団員の家族約百人を招いて日ごろの労をねぎらいました。

出ぞめ式などのご祝儀を使った料理や福引、幹部の接待や演芸に楽しい一日を過ごしていました。

発行・北海道今金町　編集・総務企画課　印刷・長門出版社　発行・48・3・16